

研究課題名	内視鏡的手縫い縫合法（endoscopic hand-suturing：EHS）による胃 ESD 後粘膜欠損部の創閉鎖における学習曲線の評価
所属（診療科等）	長崎みなとメディカルセンター 消化器内科
研究責任者（職名）	池田 智成（医師）
研究期間	承認日 ～ 2026 年 3 月 31 日
研究目的と意義	この研究では内視鏡的手縫い縫合法（endoscopic hand-suturing：EHS）による胃 ESD（Endoscopic Submucosal Dissection）後粘膜欠損部の創閉鎖における学習曲線の評価を行うことを目的としています。本研究を行うことで、初学者が EHS を習熟する際に必要な症例数を明らかにできれば、習熟期間の目安や研修計画に有用である可能性があり、より安全な治療導入につながると考えられます。
研究内容	●対象となる患者さん
	2022 年 11 月 1 日～2024 年 12 月 31 日までの間に当院消化器内科に入院した患者さんで、Expert1 名が胃 ESD 後の創処置として EHS を行った患者さん
	●利用する情報
	スケジュールに従って、電子カルテから以下の項目を収集します。 <ul style="list-style-type: none"> ・患者背景：病名、病歴、年齢、性別、内服薬、透析の有無 ・臨床検査：白血球数、CRP ・画像検査：内視鏡画像、CT 画像 ・病理検査：組織型、深達度、病変径 ・内視鏡所見：切除時間、縫合時間、使用デバイス ・有害事象：術後合併症
	●研究方法
	上記の情報をカルテより収集し、下記について検討します。 <ul style="list-style-type: none"> ・1 刺入あたりの平均時間、縫合維持率、術後合併症率
問い合わせ先	<p>所属：長崎みなとメディカルセンター 研究開発センター</p> <p>住所：長崎市新地町 6 番 3 9 号</p> <p>電話：095（822）3251 （内線 3553）</p> <p>受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>